



2022 INTERNSHIP

大型タッチパネル端末の画面デザイン

東北芸術工科大学

デザイン工学部 プロダクトデザイン学科 2年

期間：2022年9月12日～9月15日

デザインに対する考え方

今回自販機のデザインをするにあたって、いかにシンプルで多くの人にとってわかりやすいものにするかという点に重きをおいた。自販機は多くの人を使うものである。その中には急いでいる中ですぐには買いたい人、ゆっくり吟味して選びたい人、身体の不自由な人、外国人などがいる。そうした様々なスタイルに配慮し、どんな人でも使いやすくなるようなデザインにしようと思い組んだ。

シンプルで見やすくわかりやすいデザインにするため、できるだけ色数は少なくし、ポイントで使う色は商品が美味しそうに見え、食欲を刺激する暖色を用いた。ポイントで色を使うことで「どこが重要な情報なのか」ということを一目見てわかりやすくし、悩まずスムーズに購入できるよう工夫した。また文字で表すというよりもアイコンをうまく使って表現することで、よりすっきりとし、わかりやすくなっている。

また、様々な買い方のスタイルがあることを踏まえ、購入できるルートを複数用意し、どんな人でも買いやすくなるような工夫をした。さらに健常者だけでなく、車椅子を利用している人、色覚障害を持つ人など身体の不自由な人にとっても使いやすいデザインとなるようボタンの位置や色などを工夫した。



商品一覧画面

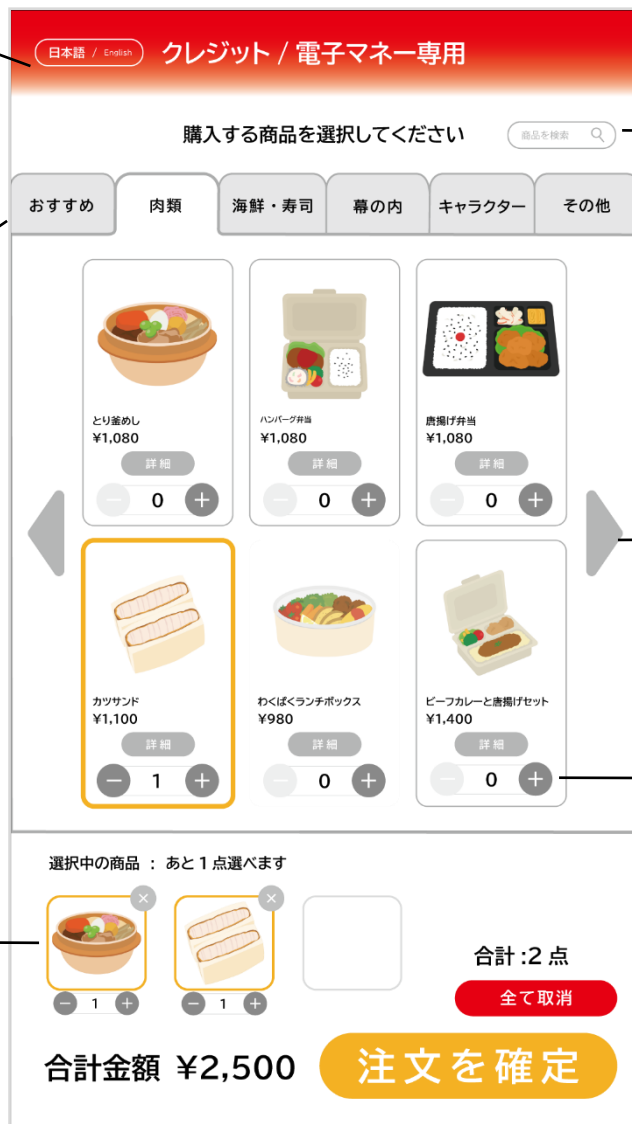
今回はキャッシュレス決済のみの自販機であるので、その点を強調しなければいけないと考えた。画面上部の目に入りやすい位置に配置し、かつ目立つ色を使用することで強調をしている。また、他のボタンと差別化するためにややグラデーションをかけている。

タブ

画面の要素が多くなりすぎないように、タブは6つにした。選択しているタブは白色になり、選択していないタブはグレーになる。また線の太さにも違いをつけ、今選択しているタブがどこなのかということをわかりやすく表示した。

選択中の商品

選択中の商品は常に下に表示されるようにし、自分が今何を選んでいうのかということがわかりやすいようにした。また、今回の自販機は3点まで選べるということを想定しているの、言葉で伝えると同時に、あらかじめ下に三つのブロックを用意しておき、そこに選択された商品がはまっていくというデザインにし、直感的にもわかりやすくなるようにした。また選択している商品の枠線の色と注文確定の色を同じにすることで、今何を洗濯しているのか、何が注文されるのかということが一目見てわかりやすくなるようにした。（詳細図2、3）



検索機能

目当ての品がを見つけやすくなるよう検索機能を設けた。しかし、実際にキーボードを打ち込むという動作は労力を伴うため、キーワードが並べられているような形をとった。（詳細図1）



詳細図1

ページ切り替え

左右にある三角のボタンを押すことで次々と商品を見ることができる。全体的に商品に目を通したい人が見やすいよう、一つのタブが見終わっても自動で次のタブが開くようになっている。

個数選択

個数を選択する場合は+と-を押して選択する。個数が0個の場合は-が、3個の場合は+がグレイアウトし、押せないようになる。選択するとそのまま下部の選択中の商品のコーナーに反映される。

選択中の商品

選択中の商品を表示するコーナーでも商品を取り消したり、個数を調整できるようにした。右側には全て取り消すことのできるボタンを用意し、警告の意味をもつ赤色に設定した。

注文を確定ボタン

自販機を使う人の中には車椅子を利用している方など身体の不自由な人もいる。そのため、合計金額や「注文を確定」などといった重要なボタンは下部に配置した。しかし健常者にとってはやや目に入りづらい箇所になっている。そのため、文字を大きく配置するなどして目に入りやすくした。また、「注文を確定」のボタンは最もクリックしやすい色と言われているオレンジ色を用い、ユーザーが買うという流れにスムーズに乗れるようにした。

それぞれの商品が表示されている部分は右図のようなデザインにした。商品がたくさん並ぶ部分であるため、ごちゃごちゃとした印象を抱かせないために無彩色をメインに用いた。エリアの半分程度を写真で占め、どんな商品なのかということが一目見て伝わりやすくなるようにし、商品の名前と値段は読みやすい文字の大きさにした。詳細のボタンを押すとこの商品の詳細が見れるようになっている。（次ページ）

外国人の方も使うため、日本語と英語の二つの表記を用意した。選択されている方が大きめに表示される。（詳細図4）



詳細図4



詳細図2



詳細図3 選択していないもの



選択しているもの



選択

詳細ボタンを押すと商品詳細画面が表示される。シンプルな構成にし、必要な情報が得られやすいようなデザインにした。文章にはその商品がどのような商品なのかということとアレルギー情報を記載した。



写真の横にあるボタンを押すと商品の画像が見れるようになっている。（最大5枚）目線に近い位置で商品の画像を大きく配置することで購買意欲を掻き立てるようにしている。

商品詳細画面でも個数を選択することができる。+を押すと下部にある「商品を追加して買い物を続ける」のボタンがオレンジ色（詳細図5）になり、そこを押すと商品が選択されたまま前の画面に戻ることができる。個数を選択しない場合や個数を選択したが取り消して前の画面に戻りたい時は左上にある×ボタンを押す。商品を選択する場合としない場合で導線を分けることで迷わずに行動できる。

商品を追加して買い物を続ける

詳細図5